
ハイテンションラブ

kick

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハイテンションラブ

【Nコード】

N4648B

【作者名】

kick

【あらすじ】

恋する女の子はパワーがあるのだ。そしてお人好し。

「先輩の事が、大好きです!!」

「・・・てか君だれ？」

きゃー！話しちゃった話しちゃった!!！

やっぱ人間努力よね。

「先輩！何かお手伝いできないですか？先輩の為なら何でもします!!」

「じゃ、パン買ってきて。」

きゃー！会話のキャッチボールしちゃった!!！

おまけに私にお願い事だなんて、前進前進また前進!!！

「先輩先輩先輩!!」

「・・・あのさ、申し訳ないからいうけど。」

「はい！なんでしょう!!」

「俺、君の事 まあ別になんとも思っていないんだよね。後輩っていつか、友達っていつか。」

きゃー!!!!友達に昇格したんだ!!私超幸せ！（涙）

このまま行ったら結婚しちゃうんじゃないの?!なんちゃって!!!!

「先輩、今日お昼何食べますか?!!」

「佐伯さん、あのね。」

きゃー!!!!名前呼んでもらっちゃった!!!!

「佐伯さん、聞いてくれる?」

「はい!何でも聞きます!!」

「僕の彼女が君の行動が嫌みたいなんだ。だから、止めてもらえないかな。」

・・・なによ。なんで最初から言わないのよ。

なんで今更言うのよ。

ずっと走ってきて、急に止まったら心臓に悪いんだよ。

ものすごく苦しいじゃない。ものすごく苦しいじゃない。

私、これでも女の子だから、女心がわかるのよ。

私の欠点はあなたの彼女の事を考えて、ごめんなさいって思っちゃう人の良さなのよ。

私、一生懸命だったけど、それは伝わってなかったのかなあ。

「先輩!!!!」

「ん?」

「ば—————か!!!!!!」

そして私は超ダッシュ!苦しい心臓をもっと苦しくして、走りきったら思いっきり泣いてやる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4648b/>

ハイテンションラブ

2010年12月5日15時22分発行